

技術的な案内

# ハーマン フェニックス200

## ISO 200/24° C41 プロセスカラーフィルム

HARMAN Phoenix 200 は、実験的な ISO 200、C41 プロセス、高コントラストのカラーネガフィルムです。そして目に見える強い木目。

あらゆる写真の被写体に使用でき、結果は周囲の照明条件、カラーパレット、露出の精度に依存します。通常、最良の結果は、屋外で中間調の測光を行いながら、一貫した明るさと中程度の明るさのシーンで得られます。

HARMAN Phoenix の高いコントラストは、使用するスキャナーとスキャン パラメーターに応じて色とコントラストの両方を制御できますが、柔らかい照明の下でもパンチの効いた鮮やかなシーンの演出を実現します。最良の結果を得るには、標準のスキャン パラメータを調整することをお勧めします。(後の情報を参照してください)。

HARMAN Phoenix 200 は C41 / CN16 処理薬品で簡単に処理でき、EI 100 ~ 400 の範囲で露光できます。全体的に最良の結果は EI 200 で得られますが、シーンに応じて 0.5 ~ 1 段露出アンダーにすることでハイライト制御が改善される場合があります。

HARMAN Phoenix 200 フィルムは、36 枚の露出を備えた ISO 200 DX コード化カセットで入手でき、すべての 35mm フィルム カメラに適しています。

ハーマン フェニックス 200 が他と違う理由:

HARMAN Phoenix 200 は実験的な C41 カラーフィルムであり、HARMAN Photo によって初めて製造されたものです。そのため、従来の確立された C41 カラーネガフィルムとは大きく異なる特性を持っています。

時折コーティングに異常が発生するリスクに加えて、このフィルムにはマスキング染料が含まれておらず、ベース層に組み込まれるハレーション防止機能も限られています。これは、明るい光源や反射の周囲で顕著なハレーション効果が発生する可能性があることを意味します。独特のカラーレンダリングに加えて、このフィルムは特定のシーンやカラーパレットを撮影すると明らかにアナログな外観になります。

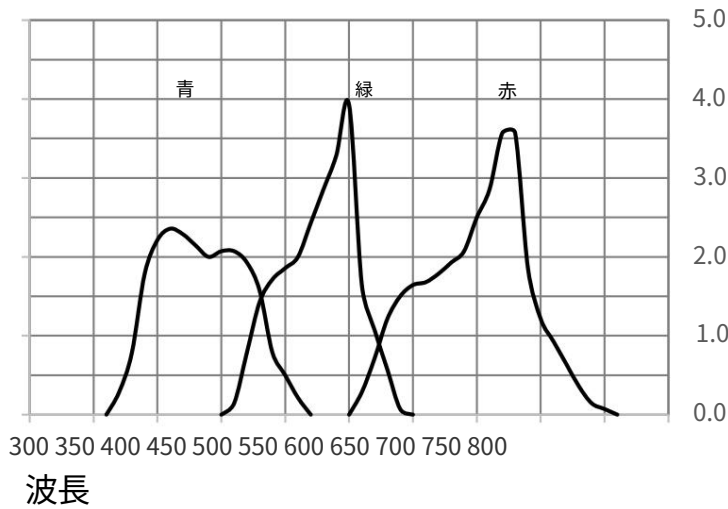
暴露評価:

HARMAN Phoenix 200 フィルムの感度は、日光まで ISO 200/24° (200ASA、24DIN、EI 200) です。速度定格は、標準の C41 処理を使用して測定されました。定格は 200/24°ですが、Phoenix は EI 100/21° ~ 400/27° の範囲で暴露できます。

## ハーマン フェニックス 200技術情報

スペクトル感度:

タングステン光に対するウェッジスペクトログラム (2856K)



フィルムコントラスト

HARMAN Phoenix 200ネガは、ほとんどの従来のカラー フィルムよりもコントラストが高くなります。したがって、特に明るい日には、シーンの明るさを正確に捉えるために、露出をある程度ブラケットングする必要がある場合があります。

フィルター係数:

HARMAN Phoenix 200フィルムは、通常の方法であらゆる種類のフィルター (偏光フィルターや減光フィルターなど) とともに使用できます。フィルターメーカーの指示に従ってください。

長時間露光を行う:

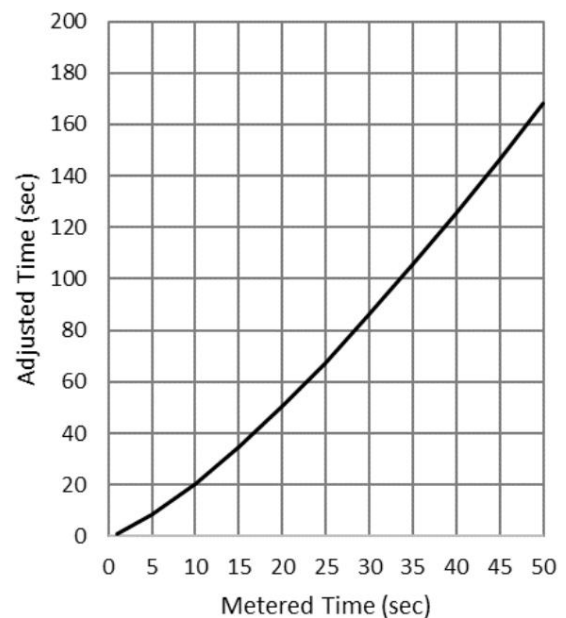
1 ~ 1/10,000 秒の露光では、相反則の破綻を調整する必要はありません。

1 秒を超える露出を与える場合、HARMAN Phoenix 200 は他のフィルムと同様に、メーターで示されるよりも多くの露出を与える必要があります。グラフを使用して、計測時間がわかったら与えるべき増加した露光時間を計算します。

グラフは式  $T_a = T_m 1.31$  に基づいています。

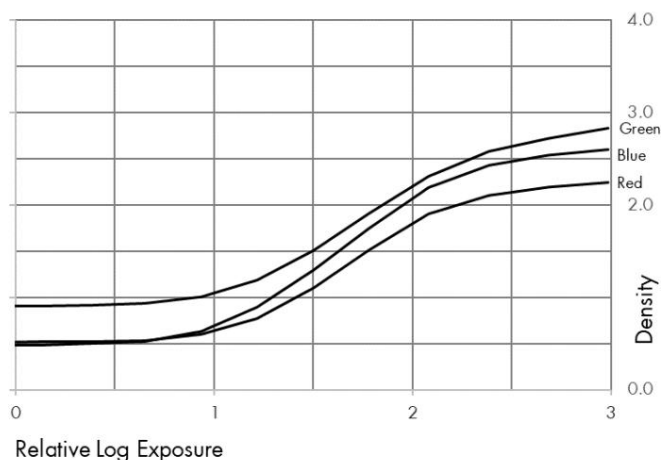
$T_a$  = 調整された時間

$T_m$  = 従量制時間



## ハーマン フェニックス 200技術情報

## 特性曲線:



HARMAN Phoenix 200 フィルムは標準 C41 タイプの化学薬品で処理されています。

## 処理：

HARMAN Phoenix 200 フィルムは、標準的な C41 カラーネガフィルムプロセスで処理されます。この映画は、あらゆるメーカーのカラーネガフィルムと一緒に処理されます。

## セーフライトの推奨事項

HARMAN Phoenix 200 フィルムを完全な暗闇で扱います。

## C41型加工

HARMAN Phoenix 200 フィルムは、C41 タイプの処理薬品と完全に互換性があり、両方とも補充されます (例: ディップアンドダックまたはローラートランスポートプロセッサ内)および未補充 (例: スパイラルタンクまたはJoboワンショット) 回転加工)。フィルムは処理を調整することなく、標準の C41 ラインに通すことができます。速度、温度、または補充率。

## 乾燥

手作業で処理する場合、乾燥跡を避けるために、吊るして乾燥させる前に、清潔なスキージまたはセーム皮の布を使用してフィルムを拭きます。フィルムを乾燥キャビネット内で 30 ~ 40°C/86 ~ 104°F で乾燥させるか、清潔なほこりのない場所で室温で乾燥させます。

マシン処理 - デフォルトの C41 マシン設定を使用します。

## プッシュ処理

HARMAN Phoenix 200 ではプッシュ処理は推奨されません。

## ストレージ：

すぐに使用する場合は、HARMAN Phoenix 200 を元のパッケージに入れた状態で涼しく (10 ~ 20°C/50 ~ 68°F) 乾燥した場所に保管してください。

HARMAN Phoenix 200 は冷蔵庫/冷凍庫に保管できますが、使用前にフィルムが慣れるまで十分な時間をとってください。

## 露光フィルム

HARMAN Phoenix 200 が露出したら、できるだけ早く処理してください。上記で推奨されているように、露光済みのフィルムは常に涼しく乾燥した状態で保管する必要があります。

## 未露光フィルム

未露光フィルムは、他のカラーフィルムと同様に、元のパッケージに入れて、涼しく (10 ~ 20°C/50 ~ 68°F) 乾燥した場所に保管してください。

## ハーマン フェニックス 200技術情報

---

### ネガタイプ

処理済みのネガは、涼しく (10 ~ 20°C/50 ~ 68°F)、乾燥した場所、暗所に保管してください。適切な保管スリーブには、三酢酸セルロース、マイラー、紙 (pH6.5 ~ 7.5)、または不活性ポリエステルで作られたものが含まれます。

正しく処理された HARMAN Phoenix 200 ネガは通常、マゼンタ/紫の色合いを持っていますが、正確な画像の色は処理方法によって異なります。

### 乳剤側の識別

一部のネガとは異なり、HARMAN Phoenix 200 乳剤は光沢のある表面を持っています。乳剤側を判断するには、ネガを光源に向けて観察し、エッジサインが正しく読み取り、乳剤が反対側を向いているようにします。

### スキャンと印刷:

#### 版画制作

HARMAN Phoenix 200 ネガは、他のカラー C41 フィルムと同じ方法でプリントされます。スキャンされたネガまたは直接アナログ露光を介して。

#### 走査

一般的なスキャナの設定については、次のセクションで詳しく説明します。

## ハーマン フェニックス 200技術情報

走査：

従来のカラーネガフィルムとは異なり、HARMAN Phoenix 200にはオレンジ色のマスクがありません。これはスキャナの応答に影響を与える可能性があるため、最適な結果を得るには調整が必要になる場合があります。最適な設定に関する推奨事項を以下に示します。これらのスキャン設定は、The Darkroom.com、Analogue Wonderlab、SilverPan のサポートを受けて HARMANLab.com によって開発されました。

フィルムラボとブルームーンカメラアンドマシン。

Fujifilm SP3000以下

は、出発点となる推奨事項です。注：多くのラボには独自の推奨ワークフローがあるため、これらは単なるガイダンスとして扱う必要があります。これらの設定は、次のようにカスタムチャンネルに割り当てることができます。

メインメニュー>セットアップ&メンテナンス>パスワード「7777」>印刷条件設定&確認>カスタム設定登録。

設定を任意の空きチャンネルに割り当て、適切な名前(例: Phoenix)で保存します。

詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

フィルムに特定の自動DXチャンネルを設定することもできますが、設定はより限定されます。

好みのワークフローでない限り、お勧めしません。

|  |   |  |
|--|---|--|
| 入力方式<br>ネガティブ                                      | シャープネス/粒子制御<br>シャープネス処理 = いいえ                             | キーステップ幅<br>デフォルト (CMY = 5, D = 10)<br>BL = デフォルト (0)<br>SL = デフォルト (0)<br>(キー修正のみに影響します) |
| 色調補正<br>ハイパートーン = はい<br>全面修正                       | グラデーション/ブライト<br>ガンマ: シャドウ = -4,<br>ミッドトーン = -2, ハイライト = 0 | その他の修正<br>彩度 = -3  |
| 音質調整 = 標準<br>ハイライトレベル = 通常<br>影レベル = 通常<br>モード = 1 | 残高 = オール 0<br>ブライトモード = 0<br>カラーモード = 0                   |  |

注意。他の C41 プロセス フィルムと同様に、デジタル画像補正および強化 (デジタル ICE) を使用して、画像からゴミや傷を自動的に除去できます。

## ハーマン フェニックス 200技術情報

ノーリツ HS1800、LS600、LS1100ノーリツ スキャ

ナは、HARMAN Phoenix 200 と連携するように簡単に設定できます。多くのラボでは、推奨される設定を行っています。以下は、最小限の構成で良好な結果を得るために推奨される開始点です。

|  |   |   |
|--|---|---|
| <p>全体設定<br/>色補正 = 標準</p> <p>階調補正(135)=ON<br/>基本濃度補正 = 1<br/>スキャナー = オン<br/>タングステン補正 = 80<br/>CF = 80<br/>基本的な色補正 = 0</p> <p>(その他はすべて0またはOFF)</p> <p>入力方式<br/>ネガティブ</p> | <p>DSA 設定<br/>自動コントラスト Ov = 0<br/>自動コントラスト Sh = 0<br/>自動コントラスト高 = 0<br/>自動シャープネス = 0<br/>クロマ = 100</p> <p>粒子抑制 = 0<br/>自動コントラスト 2 = 5<br/>CS バランス (赤) = 0<br/>CS バランス (青) = 0</p> | <p>カラーバランスと濃度</p> <p>出発点<br/>Y = -2<br/>M = 0<br/>C = +2</p> <p>D = 必要に応じて調整します</p> |
|--|---|---|

ワークフロー中に設定を調整し、ホールド機能を使用するか、HARMAN Phoenix 200 専用のプリント チャネルを作成することで、すべてのフレームに設定を適用できます。プリント チャネルを作成するには、サービス メニューのパスワードを使用してログインする必要があります。（以下を参照してください）

機能メニューで、F1 を押してから F9 を押し、プロンプトにサービス パスワード「2260」を入力します。

サービス パスワードを入力すると、新しい印刷チャネルを編集して保存できるようになります。詳細については、スキャナ/EZ コントローラの取扱説明書を参照してください。

Epson V850 および Epson フラットベッド スキャナー完全な自動露出と自動カラーを使用します。

デジタル カメラのスキャンデジタル カ

メラでスキャンするには、通常のワークフローに従ってください。変換ソフトウェアを使用すると、好みに合わせてパラメータを調整できます。

その他のスキャナ上記に

記載されていないスキャナの場合は、目安として次の設定を使用します。

- 自動露出 / 色補正 = オン - 鮮明化 - オフまたは低 - 彩度 - スキャナーによっては、最大 30% のわずかな低減により、より望ましい結果が得られる場合があります  
画像。

HARMAN technology Limited,  
Ilford Way, Mobberley,  
Knutsford, Cheshire WA16 7JL, England  
www.harmanphoto.co.uk